

# 令和5年度事業報告書

(自・令和5年4月1日～至・令和6年3月31日)

今年度は、創立20周年を終え、新たな気持ちで、夢のある未来に向けて、若菜全体が一体となった事業活動を行うように目指した。実際に若菜まつりや交流会など、今までは合同で開催できていなかった法人イベントも合同で開催することができた。

就労活動の店舗販売においては、お客様とのコミュニケーションを通して、利用者が輝けることを主体に運営していくように行った。

地域社会に貢献するため、子供からお年寄まで幅広い支援を行った。各事業所の活動としてイベントに参加したり、飲食店でも絵の展示を通して多くの方と交流することができた。

## 令和5年度 あやめの里（生活介護事業）において

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

また、あやめの里のギャラリー展示では全ての作品に値段を設定し、販売を行うことで活動による報酬を得ることもできた。

具体的には、定員20名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員5名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、野菜の栽培、地域の草刈作業、内職作業等、障害・個性に合わせた支援を行った。

## 令和5年度 すが野の里（生活介護事業）において

すが野の里は、若菜の方針である、働くことを通して生活支援を行った。

「認められる」「必要とされる」を念頭に置き、イベントや交流会では積極的に関わられるように支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員7名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、野菜の栽培、野菜の加工、箱折り作業等を行い、栽培・加工から販売までの幅広い作業の中で、個性に合わせた支援を行った。

## 令和5年度 潮かぜの里（生活介護事業）において

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員5名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、一般企業の袋詰め・箱折りなどの受託事業を中心に行い、芸術活動等、個性に合わせた支援を行った。

### **令和5年度 さざなみの里（就労継続B型事業）において**

就労継続B型サービスでは、海苔加工・清掃事業及び、内職作業を行った。

具体的には、定員30名の支援を、施設長1名・サービス管理者1名・生活支援員2名・職業指導員4名で行った。

内容は、海苔加工に関わる作業、清掃に関わる作業、内職作業、芸術活動等、個性に合わせた作業で、工賃アップを目指した。新たにパンの販売や外注作業の幅を広げるなど、利用者の取り組みたいことも踏まえて収入の増加を行った。

### **令和5年度 きずなの里（就労移行事業・就労継続B型事業・生活介護事業）において**

就労支援移行事業サービスでは、一般就労に向けた具体的な支援を行った。

具体的には、定員6名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員1名・職業指導員2名・就労支援員1名で行った。

内容は、ジャム製造・販売、喫茶店運営等、個性に合わせた作業を通して、協調性を養い、就労訓練を行った。

就労継続B型事業サービスでは、福祉的就労としての支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、管理者1名・サービス管理者1名・生活支援員2名・職業指導員5名で行った。

ジャム製造・販売、喫茶店運営等、個性に合わせた作業を通して、協調性を養い、一般就労に替わる工賃を目指す。また、新たな活動として弁当の販売やお菓子の新商品など、常に新しい取り組みを模索しながら支援を行った。

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

「認められる」「必要とされる」を念頭に生活介護支援を行った。

具体的には、定員10名の支援を、施設長・サービス管理者1名・生活支援員3名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、絵画・手芸など、創作活動を中心に行った。絵画や手芸など、販売先を増やしたり、ギャラリー展示の回数を増やすなどの取り組みを通して、お客の目に留まる機会を増やすように支援を行った。

### **令和5年度 瀬戸の里（生活介護事業・就労継続B型事業）において**

生活介護事業サービスでは、畑作業を中心とした支援を行った。

具体的には、定員20名の支援を、管理者1名・サービス管理者1名・生活支援員5名・看護師1名・嘱託医1名で行った。

内容は、畑作業、織り等創作活動を通して集中する力を養い、利用者の自立を目指した。また、長年悩まされた雨の日の活動に対して、雨が降っても畑作業ができるようにビニールハウスの導入など、利用者の活動が制限されないように目指した。

就労継続 B 型事業サービスでは、福祉的就労としての支援を行った。

具体的には、定員 10 名の支援を、管理者 1 名・サービス管理者 1 名・生活支援員 1 名・職業指導員 3 名で行った。

内容は、畑作業、手工芸、創作活動等、個性に合わせた支援を行い、工賃増を目指した。また、ソーラーパネルの清掃や不用品の処理など、今までにない仕事内容を業者と連携し取り入れるように支援を行った。

#### **令和 5 年度 あじさいの里（生活介護・就労移行・就労継続 B 型）において**

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

具体的には、定員 20 名の支援を、施設長・サービス管理者 1 名・生活支援員 3 名・看護師 1 名・嘱託医 1 名で行った。

内容は、カレー製造を中心に行い、創作活動等、個性に合わせた支援を行った。カレー販売では土日の販売も取り入れ、平日では購入できないような人にも提供できるように取り組んだ。

就労支援移行事業サービスでは、一般就労に向けた具体的な支援を行った。

具体的には、定員 6 名の支援を、施設長・サービス管理者 1 名・生活支援員 1 名・職業指導員 2 名・就労支援員 1 名で行った。

内容は、店舗訓練や食品加工など、就労訓練を行った。

就労継続 B 型事業サービスでは、福祉的就労としての支援を行った。

具体的には、定員 14 名の支援を、管理者 1 名・サービス管理者 1 名・生活支援員 1 名・職業指導員 3 名で行った。

内容は、畑作業、そば店運営など自立に向けた支援を行い、工賃増を目指した。

#### **令和 5 年度 北方の里（生活介護）、分場久井の里において**

生活介護サービスでは、若菜の方針である、働くことを通して自立支援を行った。

具体的には、定員 20 名の支援を、施設長・サービス管理者 1 名・生活支援員 4 名・看護師 1 名・嘱託医 1 名で行った。

内容は、創作活動・畑作業・食品加工等、個性に合わせた支援を行った。尚、重度の生活介護の利用者のため、久井の里において、入浴支援など厚い支援を目指した。人数の多い場所では不安定になる利用者もあり、本人の特性に合わせて支援の場所を調整した。

#### **令和 5 年度 せらの里（児童発達支援・放課後等デイサービス）において**

放課後等デイサービスでは、児童の放課後、長期休み中の支援を、動物セラピーを中心に生きる力を伸ばせるよう支援を行った。

具体的には、定員 20 名の支援を、施設長・サービス管理者 1 名・保育士 5 名・嘱託医 1 名で行った。

内容は、動物セラピー・アート指導・ダンス指導・生活指導・文化活動など、個性に合わせた支援を行った。

尚、登録利用者は多いが他法人に分散されているため、又西部地域の方の利用もあり、支援を充実させるため定員を10名とし、世羅町西部の子供たちを支援する為、久井の里に新たに10名の施設開所を目指したが、有資格者の職員の確保の難しさから、開所はできていない。定員は予定通り10名に変更し、利用曜日を調整しサービスの提供不足が起こらないように支援した。

児童発達支援では、生きる力を伸ばせるよう支援を行った。

具体的には、定員10名の支援を、施設長・サービス管理者1名・保育士3名・嘱託医1名で行った。

内容は、動物セラピー・アート指導・ダンス指導・生活指導・文化活動など、個性に合わせた支援を行った。また、施設内に畑を整備し、いつでも野菜に触れる機会を提供したり、食育に繋がるように支援した。

#### **令和5年度 就労支援施設（手打ちそば結・ギャラリー若菜・ジャムアンドカフェきずな）について**

あじさいの里・さざなみの里・きずなの里の利用者において、支援効率を考え、施設とは切り離し、今までのスキルアップと共に、工賃の大幅なアップを図るため、就労訓練場所として支援を図った。ギャラリー若菜においては創作活動所を併設し、各施設の発表の場とした。また法人外からも展示希望があり、個展を開催し地域貢献を行った。

#### **令和5年度 川辺の里（共同生活介護事業・短期入所事業）において**

川辺の里共同生活介護事業・短期入所事業（川辺の里）において

共同生活介護事業・短期入所事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

具体的には、定員、川辺の里16名の支援を、管理者1名・サービス管理者1名・生活支援員3名・世話人5名で行った。

具体的には、一人ひとりが自立した日常生活が営めるよう支援すると共に、色々な体験を行い楽しい日常生活が営めるよう支援した。

#### **令和5年度 たかすの里（共同生活介護事業・短期入所事業）において**

たかすの里共同生活介護事業・短期入所事業（たかすの里Ⅰ・たかすの里Ⅱ・さくらの里）において共同生活介護事業・短期入所事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

具体的には、定員、さくらの里9名・たかすの里Ⅰ8名・たかすの里Ⅱ20名の支援を、管理者・サービス管理者1名・生活支援員3名・世話人9名で行った。

具体的には、一人ひとりが自立した日常生活が営めるよう支援すると共に、色々な体験を行い楽しい日常生活が営めるよう支援した。

利用者希望が多いため、たかすの里Ⅲ10名を受け入れる施設を建設していきたい。

#### **令和5年度 あかねの里（共同生活介護事業・短期入所事業）において**

あかねの里共同生活介護事業・短期入所事業（あかねの里・みのみの里Ⅰ・みのみの里Ⅱ・みのみの里Ⅲ・ゆうひの里）において、共同生活介護事業・短期入所事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

定員、あかねの里4名・ゆうひの里4名・みのみの里Ⅰ6名・みのみの里Ⅱ10名・みのみの里Ⅲ10名の支援を、管理者1名・サービス管理者1名・生活支援員3名・世話人6名で行った。

具体的には、一人ひとりが自立した日常生活が営めるよう支援すると共に、色々な体験を行い楽しい日常生活が営めるよう支援した。

#### **令和5年度 梨羽の里（共同生活介護事業・短期入所事業）において**

共同生活介護事業・短期入所事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

具体的には、定員梨羽の里10名の支援を、管理者・サービス管理者1名・生活支援員2名・世話人2名で行った。

具体的には、一人ひとりが自立した日常生活が営めるよう支援すると共に、色々な体験を行い楽しい日常生活が営めるよう支援した。

#### **令和5年度 若菜・尾道相談事業所（相談事業）において**

相談事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

管理者1名・サービス管理者1名・相談員1名で行った。

具体的には、相談支援会議に参加し、相談支援について技術を深めつつ、尾道市（近隣含む）の障害者の相談支援を行った。

#### **令和5年度 若菜・福山相談事業所（相談事業）において**

相談事業サービスでは、自立した日常生活が営めるような支援を行った。

管理者1名・サービス管理者1名・相談員1名で行った。

具体的には、相談支援会議に参加し、相談支援について技術を深めつつ、福山市（近隣含む）の障害者の相談支援を行った。

#### **令和5年度 せらの里相談事業所（相談事業）において**

相談事業サービス（児童）では、将来自立した日常生活が営めるような支援を行った。

管理者1名・サービス管理者1名・相談員1名で行った。

具体的には、相談支援会議に参加し、相談支援について技術を深めつつ、世羅町（近隣含む）の障害者の相談支援を行った。